



HU D&I ACTIVITIES

VOL.23
MAR, 2026

広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構 活動報告

T&G多文化共生フォーラム

- ◆日時
2026年3月14日（土）
- ◆場所
東広島市芸術文化ホール くららサロンホール
- ◆参加者 32名
- ◆共同主催
・広島大学D&I推進機構 ダイバーシティ研究センター
・東広島市生活環境部市民生活課

◆実施目的と概要

本フォーラムは、令和7年度T&G
コモンプロジェクト

「多文化共生社会の実現に向けた東広島市
多言語ホームページおよび多言語コミュニ
ケーションアプリの利用促進—技能実習生
や留学生を含む外国籍住民と地域住民の相
互理解の促進—」（人間社会科学研究科 櫻
井里穂／市民生活課）の報告会を兼ねて実
施されたものです。フォーラムでは、1年
間のT&G事業の活動報告を行うとともに、
多文化共生の実現に向けたヒントとなる講
義を提供しました。なお、T&Gプロジェク
トの概要は以下の通りです。

東広島市と広島大学が推進する TOWN & GOWN 構想



「TOWN & GOWN構想」に基づき、次のことに取り組みます。

- ・地域課題の解決に資する科学技術イノベーションの社会実装と人材育成の推進
- ・民間企業、起業家や投資家、市民と連携した産学官民連携エコシステムである地域共創の場の形成

コモンプロジェクト：

<https://tgo.hiroshima-u.ac.jp/common-project/>

過去参考資料

東広島市・広島大学 多文化共生事業

外国人技能実習生体験会

～多文化共生社会を体感しよう！～

2025. 11.29 土 10:00～17:00

会場
・広島大学教育学部棟B101
・協同組合技術者育成協力会（TECS）木鶏の社
（東広島市志和町志和東3432）

広島県は技能実習生が多く（全国9番目）県内には100を超える技能実習生協賛会があります。本事業では、在留外国人のなかでもとくに多い「技能実習」について、実習生が実日後必ず受けている講習を一緒に体験します。また、実習生と対話することで、彼らが何を思い、日本でどのように働いているのか、直接話を聞く機会を提供します。最近特によく見かける「ガイコクシ」について多種多様な立場があることへの理解を深めることを目的としています。最近特によく見かける「ガイコクシ」について、これまで知らなかった世界をのぞいてみませんか？

技能実習生ってどんな人たち？
どんな仕事をしているの？
実習生と一緒に講習を体験し、対話を通してリアルな声を聞いてみませんか？

集合・解散場所 広島大学教育学部B棟正門玄関前

参加条件 18歳以上かつ以下の条件にすべて当てはまる方(高校生不可)

- ✓ 技能実習生のことを知ってみたいと思う方
- ✓ 多文化共生に関心があり、体験を通して学んだことを共有してみたい方
- ✓ 当日に事前・事後アンケートに協力できる方
- ✓ 終日参加ができる方

募集定員 15名程度

参加費用 500円（ランチ代実費）

※本イベントに先立ち、D&I推進機構では東広島市と連携し、昨年11月29日に協同組合技術者育成協力会（TECS）にて「外国人技能実習生体験会」を実施いたしました。

詳細はこちらをご覧ください。

<https://d-and-i.hiroshima-u.ac.jp/news/251129news/>



T&G多文化共生フォーラム

当日のプログラム

スケジュール

13:00～13:30	受付
13:30～13:40	趣旨説明（広島大学×市民生活課） ・Town & Gown・COMMONプロジェクトについて（市民生活課） ・本プロジェクトの概要について（広島大学）
13:40～14:30	『多文化共生時代における日本語教材』 (株)スリーエーネットワーク第一営業課 相澤洋一郎氏
14:30～14:40	休憩
14:40～15:40	1年間の活動報告・外国人人材の活躍について ・「介護分野における技能実習生・特定技能生の活躍と課題」 ・「農業・酪農分野における技能実習生・特定技能の活躍と課題」 ・「技能実習生とすごした20年を振り返って」 ・「技能実習生インタビュー結果など」
15:40～16:00	質疑応答など



フォーラム当日の様子



東広島市・スタッフとともに登壇者の皆さんを囲んで

◆レポート

本フォーラムでは、まず基調講演として、多文化共生が求められる現代における日本語教育の現状と、現在求められている「やさしい日本語」とはどのようなものかについてご講演いただきました。続いて活動報告として、介護分野および農業分野における技能実習生の活躍について発表が行われました。また、広島県外国人技能実習生受入団体連絡協議会会長より、約20年にわたり技能実習生と共に過ごしてこられたご経験についてお話しいただきました。最後に、司会より、技能実習生へのインタビュー結果のまとめを報告しました。

参加者からは、「『みんなの日本語』で知られるスリーエーネットワークの方のお話を直接伺うことができ、最新の情報も得られて大変勉強になった」「監理団体の視点からのお話もあり、技能実習生を取り巻く現場の課題や活躍について具体的に理解することができた」「日本に暮らす私たちが、今後どのように多文化共生社会を築いていくべきかを考える良い機会になった」「現地視察や体験、実習生との対話を通じて得た学びや気づきが、本フォーラムで改めて整理された。互いにリスペクトを持つことの重要性を再認識した」「時代に合わせて日本語教材が変化している点が興味深かった」など、多文化共生に対する前向きな感想が寄せられました。